

中小企業の業況は依然としてマイナスで推移。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど令和8年1月～3月期実績と令和8年4月～6月期見通しについての調査結果（回答数86社、回答率86%）をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

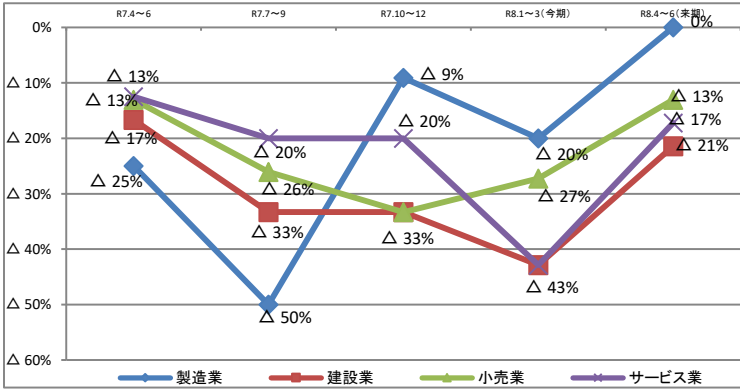
全業種のDI値に見る業況判断動向は前期と比較し悪化となった。業種別にみると、サービス業は▲20%から▲43%と大幅に悪化、その他3業種は前期同様マイナスで推移している。売上はサービス業を除く3業種で前期と比べて減少となり、特に製造業で▲9%から▲44%と、大幅な減少となった。仕入単価については、全業種で前期と比べて減少となっており、改善の兆しが見られる。ただ、経常利益については依然として全業種でマイナス値、小売業を除く3業種で前期と比べて減少となっており、売り上げ減少等の影響が強いことがうかがえる。また従業員数について、全業種で前期と比べ減少傾向であり、人材の流出に苦慮している事業所が多いことが推測される。

新規設備投資について、今期（1～3月）中に設備投資を実施した企業は全体の17%、来期設備投資を実施予定の企業は20%であった。

◆業況DI値（今期の状況）

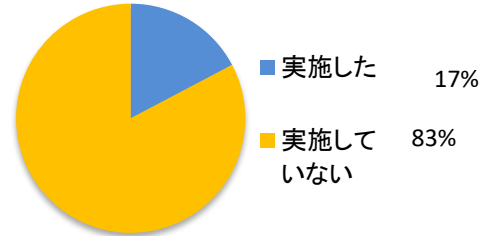
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 35%	↘	△ 38%	↘	△ 27%	↘	50%	↘	△ 38%	↘	△ 8%	↘
製造業	△ 20%	↘	△ 44%	↘	△ 29%	↘	75%	↘	△ 31%	↘	△ 7%	↘
建設業	△ 43%	↘	△ 36%	↘	△ 38%	↘	29%	↘	△ 43%	↘	△ 7%	↘
小売業	△ 27%	↗	△ 35%	↘	△ 22%	↗	52%	↘	△ 38%	↗	0%	↘
サービス業	△ 43%	↘	△ 34%	↗	△ 22%	↘	48%	↘	△ 38%	↘	△ 14%	↘

◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）

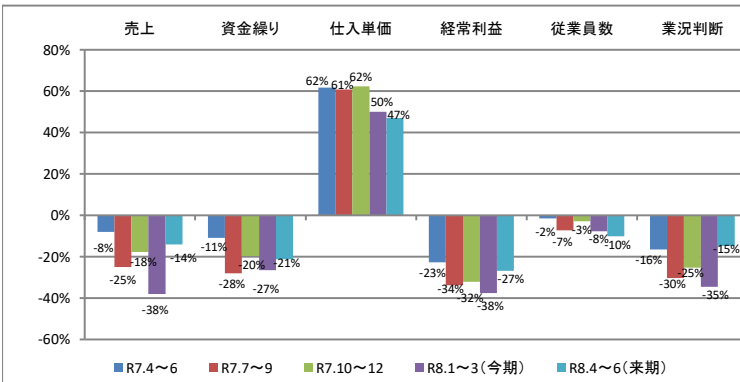


◆新規設備投資（今期実施・来期計画）

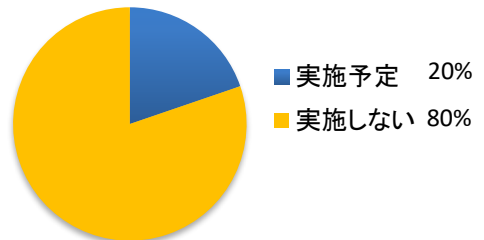
【今期設備投資】



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期設備投資計画】



◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
1位	原材料価格の上昇	21.1%	官公需要の停滞	18.9%	仕入単価の上昇	23.2%	材料等仕入単価の上昇	17.1%
2位	人件費の増加	18.4%	民間需要の停滞	18.9%	需要の停滞	16.1%	利用者ニーズの変化への対応	14.5%
3位	製品ニーズの変化への対応	13.2%	材料価格の上昇	16.2%	消費者ニーズの変化への対応	12.5%	人件費の増加	14.5%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。